NO.22

戦国浪漫と大正浪漫が交差する

戦国時代からの道

このコースには「海が見える丘」があり、天気がいい日には、遠州灘が望めます。また、軽便鉄道軌道跡は、旧浅羽町で整備されたものですが、現在でも、袋井市で最もすばらしい遊歩道の１つです。休日は、浅羽支所に車を止めて、約１時間の快適ウオーキングなんて、いかがですか？

よってこ！ポイント

浅羽記念公園・袋井市郷土資料館・近藤記念館

軽便鉄道駿遠線をイメージした機関車のモニュメントや、駅名を付したオブジェなどが配置された浅羽記念公園の一角に、袋井のあゆみを考古資料でたどり、伝統的な年中行事や歳時記が学習できる郷土資料館、袋井市大野出身の近藤健次氏の足跡から郷土を見つめ直す多目的施設の近藤記念館が位置している。これらの複合施設は近藤氏の多額の寄附により、平成22年から23年にかけて建設・整備することができた。

- ●開館時間／午前9時～午後5時（入館は4時半まで）
- ●休　館　日／月曜（祝日の場合は開館し翌日・翌々日休館）、祝日の翌日、年末年始
- ●入　場　料／無料

ちょっと見聞

馬伏塚城（まむしづかじょう）はどんな城？

馬伏塚城は今川氏の重臣、小笠原氏が置かれた南遠の要の城。高天神城が武田勝頼の手に落ちると、徳川家康はこれを取り返すための前線基地として、天正2年（1574）に大改修を加えて現在の岡山集落全域を含む本格的な城に造り直した。